

近況報告（卓球とボウリング漬けの日々）

村山 静子

○ 母の介護で中座していた卓球に又戻って十年程たちます。旅行とか特別な用がない限り月曜日と木曜日の午後と土曜日の午前中は卓球にいそいそと出掛けています。所属は車で五分のところの黄檗体育館の中の源氏卓研です。体育館は市の施設なので冷暖房はなく（隣の小部屋が冷房付きの避難所になっています）真夏は汗がしたゝります。

会員は六十名位、毎回出席人数四、五十名、男女ほゞ半々でシングルス、ダブルスに黄色い声を出しながらも真剣です。希望者にはコーチが順番に強化したいところを特訓してくれますし、初心者には基礎から教えてくれます。

今のところ足腰が痛くなる事もなく一時から四時迄若い？人達と変わりなく頑張っていますが、若い人が疲れた、疲れた！と休憩しているのを見ると自分の体は大丈夫かなと少々不安です。主治医の先生に余り疲れないんですが、年を取

ると疲れても感じなくなるといふ事ありますかと尋ねると、本当に疲れたら動けませんから動ける内はどんどんやって下さいと励まされました。

安心したようなまだ少し不安のような…：年甲斐もなく頑張り過ぎてある日突然！！という事態が頭をよぎりますが。でもやり出したら止まらない！

年令は恐らく私が最高齢だと思えます。会話の中で私はもう七十だから…なんて言われると返答にとまどってしまいます。まだ年令を自慢出来る程達観出来ないし年令扱いされて手加減されるのも嫌なので、だから年令は内緒！

でも八十を目前に八十の大台は精神的にきつい、尻込みしてしまう。

○ もう一つ一年半前から月曜日・木曜日の午前中（月・木は午前中ボウリング午後卓球と忙しい）シニアのボウリング同好会「華齢会」（加齢会とよく間違えて笑われますが）に卓球の仲間と入会し楽しんでいきます。

始めた時からとに角 美しいフォームでを合い言葉に（自分のスタイルもかえりみず）年を忘れて腕を振り上げています。

まだまだスコアは満足出来るものではありませんが、たまにはツキが味方してドキドキのスコアになることもあり、興奮あり落胆ありで止められないボウリン

グに今はまっています。

○ 休息の日

最近テレビの倍返しのドラマに刺激されて池井戸潤さんにはまり、五、六冊立て続けに読んでしまいました。男の人って大へん！

○ 去年オーストラリアのゴールドコーストに旅行し、卓球の交流試合を楽しんできました。